

< 意見等 >

釧路市有林 3 2 2 7 林班 (通常林分)

- ・ 生育状況から見て、主伐時期であるという市の判断は理解できる。
- ・ 40 m幅の受光伐を進めていくことについてもよいと思う。
- ・ カラマツにあまりお金をかけても価格の上昇は見込めないので、効率的な素材生産を進めるべき。
- ・ 風倒被害の想定については、どんな山でも危険性は0ではないが、この森林が通常より危険性が高いということはないと思う。
- ・ ネズミの被害も出ているので対策を行うべき。

釧路市有林 3 0 6 7 林班 (劣悪林分)

- ・ 生育が非常に悪く、施業をしても収入は上がらないし、林況の改善も期待できないので、放置するしかない。
- ・ 収支の観点から見れば放置という結果になるかもしれないが、公的所有の責任を果たす観点から考えれば、何らかの施業は必要。
- ・ 調査簿データ上、当該森林は間伐の必要な人工林となっており、経営計画を組んでいく観点からも、単純に施業放棄ということにはならないのではないか (施業放棄林分が多ければ経営計画がまとまらない)。
- ・ 経営計画への取りこぼしはある程度の比率で認められている。どうしても事業化できない不良林分というのは今後も出てくるのが予想されるので、そうした余裕分を活用しながら、なんとか計画策定を進めていく必要がある。

王子社有林 3 0 5 5 林班 (更新伐 + 樹下植栽)

- ・ 40 m幅での更新伐は昨年度が初めて。初めはどうなるか職場内でもかなりの葛藤があったが、結果を見てやってよかったと感じている。
- ・ 帯状伐採はある程度の面積がないと適用できない (帯にならない)
- ・ 現地で列を測量するのが一番大変だった (平行にならない)
- ・ 40 mの伐採幅の両端は、残し幅のすぐ隣に植栽しても生育が期待できないのと、今後の施業に使う作業路とするため、5 m幅で植栽しない部分を設けている。
- ・ 20 m幅ではあまり林帯に光が入らないイメージがあったので、40 mぐらい開けた方が更新には良い。
- ・ 非常に効率が良いように思われるが、ほかの地域で適用できるかはわからない。

標茶町国有林 3 0 4 林班 (列状間伐)

- ・ 3残1伐で伐採している。ハーベスタやフェラーバンチャで直進することは可能だが、旋回は難しいため横取り (置幅内の抜き切り等) はできない。
- ・ 作業効率を考えれば2列伐採に越したことはないが、公益性等考えれば1列伐採がベター。

- ・ 植栽段階から考えるなら、2 m 植えより 2 . 5 m 植えの方がよいのではないか（1 列を抜いただけで 5 m 幅になり機械作業に余裕ができる）
- ・ 列状伐採を行う場合は、主伐までの行程を考えて伐採方法（残 伐）を決めるべき。
- ・ 2 回目以降の方向を植栽列にこだわらないで決める方法もある（たとえば植栽列と直角にするとか）
- ・ 等高線植えなどで列が判然としない場合は、「3 残 1 伐」というような決め方ではなく「1 2 m 残 4 m 伐」のように行う方法もある（国有林では今年度から採用）